

# 第31回 生コンセミナー



第16回コンクリート甲子園(2023年12月開催)



左のRC製プラントは50年間現役でした。昨年、右の新型プラントにバトンタッチしました。

製造中止したRC製プラントは撤去する計画です。

約75年前に誕生した生コンは、現在の社会基盤に必要不可欠です。

生コンは、今後も必要不可欠な建設材料の1つです。

この写真は、  
新旧プラントが併設された貴重な写真です。  
四国の生コン新旧プラント

# どうする!? 5308

## これからの行方

～地方から見た JIS A 5308 と人材育成～



歴代活性化委員会委員集合(2023年3月)

日 時:2024年6月26日(水)13:00～17:00

会 場:アイテムえひめ大展示場A

参加費:3,000 円(生コンセミナー&構造物診断セミナー共通チケット)

※大会参加者入場無料



生コンの憲法である JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)が、今年3月に15回目の改正がなされました。JIS A 5308 は1953年に制定され70年以上の歴史を有し、今後もさらなる発展を遂げていくものと思われます。一方、セメントを使った工業製品には、CO<sub>2</sub>排出削減という逆風が吹いています。

今回の生コンセミナーでは、地方の生コン工場から見た JIS A 5308 について考えてみることにしました。15回目の改正によって、地方の生コン工場が JIS A 5308 をどう使っていくのか？あるいは、使いやすいのか？使いにくいのか？について議論を深めたいと思います。

ところで、JIS A 5308 を遵守する地方の生コン工場の最大の課題は人材育成です。JIS A 5308 と人材育成は無関係のように見えますが、JIS A 5308 に適合する生コンを生産する生コン工場が成り立つためには、その工場の技術者を育成することが重要です。人口減少が著しい地方では、限界集落にも生コン工場があります。地方で生コンを継続的に生産するためには、技術者を育てていくことは切実な問題です。本生コンセミナーでは、四国でこれまで実施されてきた JCI 四国支部研究委員会や教育機関の人材育成の事例を紹介したいと思います。

## プログラム

司会：新居 宏美(香川県生コンクリート工業組合技術試験センター所長代理)

13:00～13:10 開会挨拶および趣旨説明

▶セミナー部会長 橋本 親典(徳島大学大学院 教授)

13:10～13:30 特別講演1 JIS A 5308の2024改正について

▶辻 幸和(群馬大学・前橋工科大学 名誉教授)

13:30～13:50 特別講演2 コンクリート工の生産性向上(生コン情報電子化等)について

▶原田 修輔(全国生コンクリート工業組合連合会 常務理事)

13:50～14:10 基調講演1 JCI四国支部「四国の生コン技術力活性化委員会」10年の活動と人材育成

▶古田 満広(香川県生コンクリート工業組合 専務理事)

14:10～14:30 基調講演2 コンクリート甲子園 15年の活動と人材育成

▶尾寄 秀典(香川県立高松南高等学校 教頭)

14:30～14:50 基調講演3 JCI四国支部「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」18年の活動と人材育成

▶橋本 親典(前掲)

14:50～15:10 休憩

15:10～16:50 パネルディスカッション

『生コン技術者がJIS A 5308への思いを語る！』～生コン工場とJIS、そして若手技術者への期待～

▶コーディネーター 古田 満広(前掲)

▶パネラー 辻 幸和 (前掲)

黒田 泰弘(清水建設(株)技術研究所)

諏訪 一広(全国生コンクリート工業組合連合会技術委員長)

板東 慎一(全国生コンクリート工業組合連合会技術副委員長)

川原 隆 (全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部技術委員長)

渡部 善弘(全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部品質管理監査委員長)

新居 宏美(前掲)

16:50～17:00 総括および閉会挨拶

▶橋本 親典(前掲)

